生徒指導だより　　第６号　平成２３年１０月２８日発行

まっすぐ五中っ子！

広島市立五日市中学校　生徒指導部

冬服の五日市中学校になりました。五中の昔ながらの基準服が輝きます。基準服としてブレザーを採用している中学校が多くなったためか、五中の「学ラン」にとても愛着を感じます。合唱コンは全学級よくがんばりました。これからの「五中っ子」は行事を振り返り、自分の生活をみつめ直す時期になります。

「江戸しぐさ」

江戸時代、江戸の町中では独特の習慣がありました。例えば、傘を差してすれちがうとき、互いに傘を外側にかたむけて通りぬける「傘かしげ」という習慣です。狭い道を通るときの「肩ひき」「かに歩き」と呼ばれるしぐさもあります。お互いがぶつからないよう一方の肩をひいて「かに歩き」をすることです。

なぜ、このような「しぐさ」が生まれたのでしょうか。もちろん、“みんなが気持ちよく暮らしたい”からです。「傘かしげ」をしてもらうと、された人はさわやかな気持ちになります。もし、傘がぶつかったら、喧嘩になるかもしれません。

この習慣は大人が子供に徹底して教えました。また、「七三の道」という考えも教えました。道路の七分は公道、三分が私道と考えて歩くと、気配りしたり、ゴミのポイ捨てもないさわやかな道になるという考えです。

現在でも“お互いが気持ちよく暮らす”ために気配りをします。エスカレーターでは、急がない人は片側に寄って乗ります。エレベーターで最後の人が降りるまで「開」のボタンを押し続けてくれる人がいます。あいさつをさわやかにする人がいます。まさに「現代しぐさ」ですね。

生徒の皆さん、地域で気配りができていますか？狭い道をすれちがうときには、どのような「しぐさ」ができるか考えてみましょう。待っていただいた車の方に「頭を下げるお礼」のしぐさをすると、相手の方は幸せな気持ちになります。

クラスではどんな「しぐさ」が考えられますか？授業はどうでしょう？校内の生活ではどんな「しぐさ」によって、お互いが気持ちよく生活できますか？

心身ともにまっすぐ成長すれば、「現代しぐさ」ができるはずです。五中の伝統として代々の後輩に伝えられるような「五中しぐさ」をつくって欲しいです。

学校付近のいろいろな方からの声に耳をかたむけよう！

○ 地域でもあいさつをよくする生徒が多いです。9 割の生徒はあいさつをしていますよ。安全にさわやかに登校しています。

△　地域の大人が子供にあいさつをすると、子供もあいさつできるようになります。地域の者であいさつがさらにどんどんできる地域にしたいです。

●　私服で２人乗りの男女の自転車を注意しました。五中の生徒かわかりませんが、ご家庭でも注意を呼びかけてください。

不審者多発

佐伯区、西区で不審者による被害が多発しています。登下校では人通りの多い道を複数で通るよう指導しています。もし、不審者に遭遇したら、まずは逃げる、大きな声を出すなど安全を確保し、すぐに 110 番通報をするよう、警察からも要請されています。